

ペットの防災 について 考える その1



災害はある日突然やってくる

緊急時、安全に避難するために、ペットと無事再会できるために普段から話し合みましょう。

- ① ペットの居場所：いつもの場所は安全ですか？
- ② 連絡、集合場所：家族で決めた集合場所、ペットを連れて行くか行かないか決めておく
- ③ 避難方法：あわてず行動するために

災害が発生したら

- ▶ 安全確保：まず飼い主が無事であること
- ▶ 普段とは違う行動を起こすかもしれません。飼い主が落ち着いてペットの安全を確保して下さい。咬まれないようにも注意。
- ▶ 避難する時は見知らぬ動物に近づかず、不用意に手を出さない。
- ▶ 足下のケガに注意！（大型犬は犬用の靴をはかせると避難時に有効です）
- ▶ わんちゃんは首輪のゆるみ（首輪のゆとりは指2本分）を確認し、リードをつけます。
- ▶ 猫ちゃんは洗濯ネットに入れてケージに入れます。（ガムテープで縦横補強）



♥ ペットの避難生活の備え ※人のための備えができていることが前提です。

第一優先物品

- 水とフード（5日分）
- 薬、療法食
- 予備の首輪、リード
- ケージ（移動時、避難時に使用）



伸びるタイプのリードは危険です。
使わないで下さい！



第二優先物品

- 愛犬手帳、動物健康手帳
- ペット防災手帳（豊橋市保健所衛生課からダウンロード）
- ワクチン接種状況



第三優先物品

- ペットシート、排泄物の処理用具
- ガムテープ、洗濯ネット
- 猫砂等トイレ用品（段ボール、新聞紙）
- カラビナ